

2022年度3Q実績

2023年1月30日

本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。

為替レート（月末TTM）

	21/12末	22/3末	22/12末
1ドル	115.01円	122.41円	132.71円
1ユーロ	130.51円	136.81円	141.43円

本資料における計数、表記の定義

SMFG	三井住友フィナンシャルグループ（持株会社）
SMBC	三井住友銀行
SMBC信託	SMBC信託銀行
SMFL	三井住友ファイナンス&リース
SMBC日興	SMBC日興証券
SMCC	三井住友カード
SMBCCF	SMBCコンシューマーファイナンス
三井住友DS	三井住友DSアセットマネジメント
SMBCAC	SMBC Aviation Capital
主要現地法人	SMBCバンクインターナショナル、SMBCバンクEU、三井住友銀行（中国）
連結	三井住友フィナンシャルグループ連結
BC単体	三井住友銀行単体
経費（BC単体）	臨時処理分を除く
業務純益	一般貸倒引当金繰入前
親会社株主純利益	親会社株主に帰属する当期純利益
リテール事業部門（RT）	国内の個人向けビジネス
ホールセール事業部門（WS）	国内の法人向けビジネス
グローバル事業部門（GB）	海外ビジネス
市場事業部門（GM）	市場関連ビジネス

業績サマリー

通期業績目標比、連結業務純益81%・親会社株主純利益99%の進捗
世界経済が不透明な状況であることを踏まえ、通期目標は変更せず

(億円)	22年度 1-3Q	前年 同期比	22年度 目標
連結粗利益	23,774	+1,954	
営業経費 (経費率)	▲14,277 60.1%	▲973 △0.9%	
持分法投資損益	進捗率 795	+254	
連結業務純益	81% 10,292	+1,235	12,650
与信関係費用	▲1,111	△466	▲2,100
株式等損益	1,382	+35	
その他	▲237	▲84	
経常利益	10,326	+1,652	11,200
特別損益	▲25	+27	
税コスト	▲2,565	▲242	
親会社株主純利益	99% 7,660	+1,412	7,700
ROE	10.0%	+1.4%	

連結粗利益

為替影響(+1,190)に加え、国内外の法人貸出と付帯取引の獲得、好調な決済ビジネスを主因に増益

営業経費

為替影響(▲660)とFullerton Indiaの連結化影響(▲320)を除けば、ほぼ横這い

持分法投資損益

為替影響(+100)に加え、東亜銀行にかかる持分変動益計上により増益

与信関係費用

大口先へ引当を計上した前年同期対比で減少

株式等損益

ETF売却益が減少したものの、政策保有株式売却益(1,080億円、YoY+330億円)は増加

Fullerton India 連結化影響 (概数、億円)

連結粗利益	+400	与信関係費用	▲70
営業経費 (のれん償却等を含む)	▲320	親会社株主純利益	▲30
連結業務純益	+80		

(参考) 主要グループ会社の業績

SMBC

	(億円)	22年度 1-3Q	前年 同期比	22年度 目標
1 業務粗利益		12,879	+1,567	
2 うち資金利益		8,713	+1,284	
3 うち投資信託解約損益		318	▲69	
4 国内		4,733	+465	
5 海外		3,980	+819	
6 うち役務取引等利益		3,365	+609	
7 国内		1,466	+108	
8 海外		1,899	+501	
9 うち特定取引利益+その他業務利益		784	▲327	
10 うち国債等債券損益		▲779	▲957	
11 経費		▲6,534	▲237	
12 業務純益		6,344	+1,331	8,400
13 与信関係費用		▲543	△335	▲800
14 株式等損益		1,279	+453	
15 その他臨時損益		199	+57	
16 当期純利益		5,637	+2,192	5,900

SMBC以外の主要グループ会社

(左：22年度1-3Q実績、右：前年同期比)

(億円)	SMCC	SMBCCF ^{*1}	SMBC日興 ^{*2}
業務粗利益	3,315 +271	2,086 +39	1,888 ▲1,244
経費	▲2,728 ▲224	▲912 ▲9	▲2,352 △106
業務純益	590 +51	1,104 ▲41	▲464 ▲1,138
当期純利益	264 +18	554 ▲65	▲413 ▲888

(持分法適用)

	SMBC信託	三井住友DS	SMFL ^{*3}
業務粗利益	408 +64	271 ▲16	1,912 +291
経費	▲273 △61	▲229 ▲5	▲854 ▲107
業務純益	134 +125	42 ▲22	1,134 +203
当期純利益	112 +114	25 ▲14	612 +43

*1 前年同期比は再編影響を遡及反映

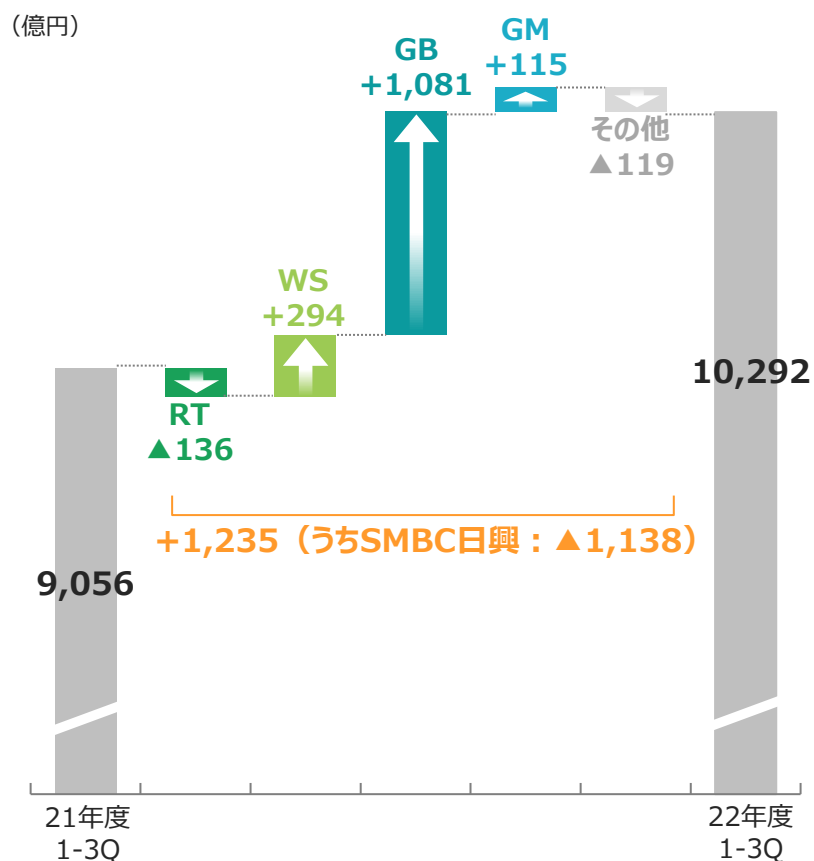
*2 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益を含む内部管理ベース *3 内部管理ベース

連結業務純益

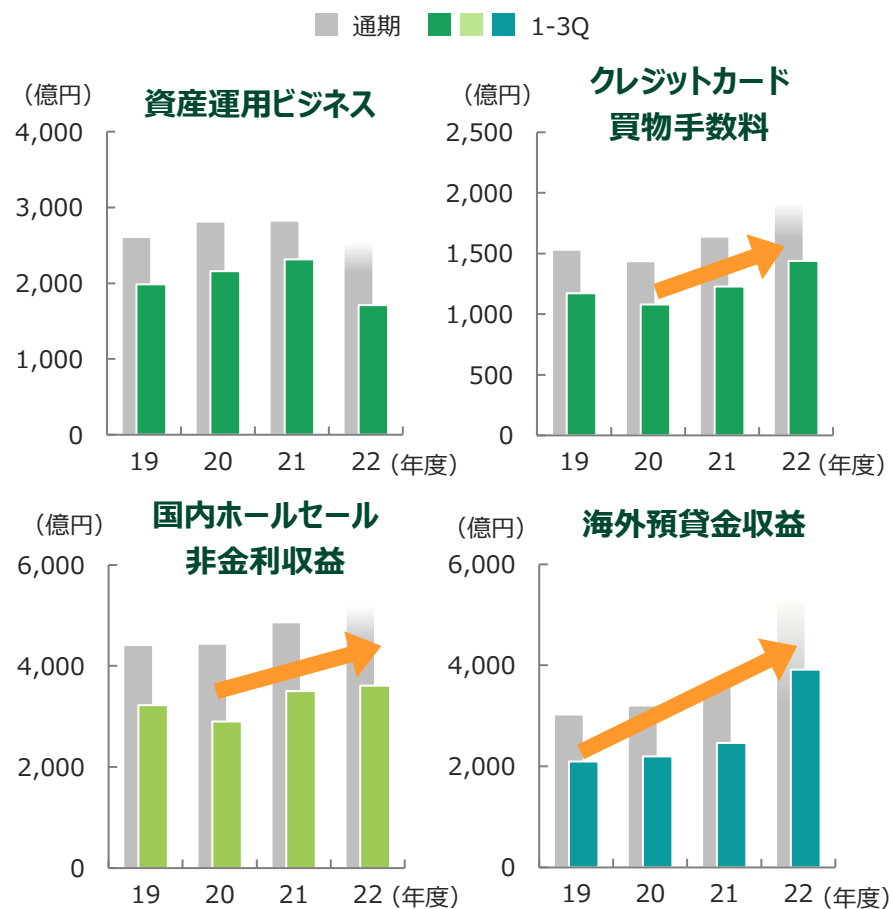
連結業務純益は引き続き好調（年間進捗率は81.4%、前年同期比+1,235億円）

SMBC日興および、資産運用ビジネスの苦戦によるRT部門の減益を、他のグループ会社・事業部門でカバー

増減の内訳



ビジネスライン別（粗利益）

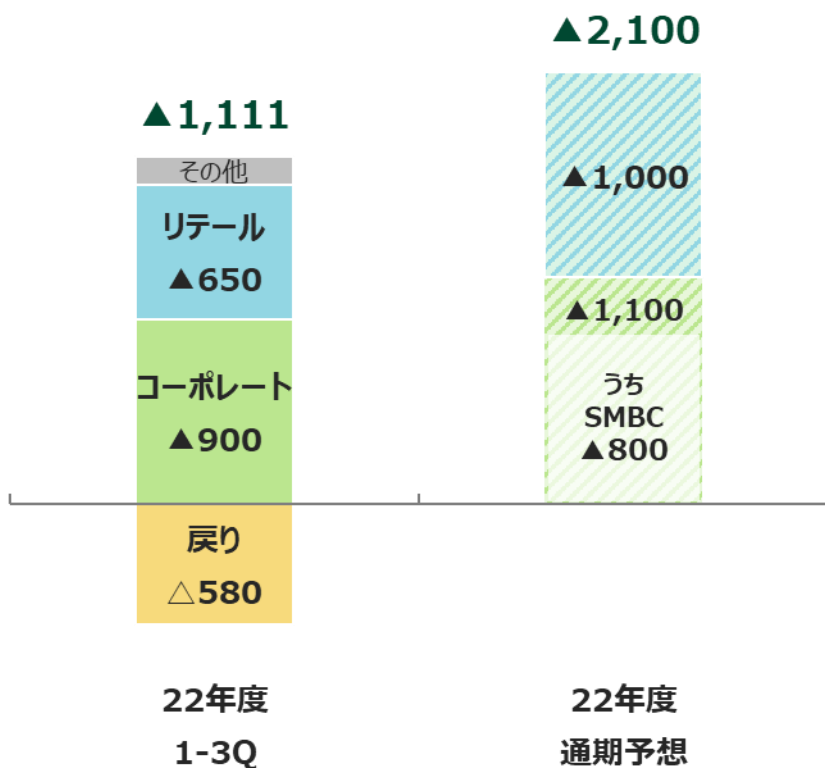


クレジットコスト・ロシア影響

引当の戻りも相応にあったことから、第3四半期までのクレジットコストは通期予想対比低位に推移
不透明な世界経済の情勢を踏まえて、通期予想▲2,100億円は据え置き

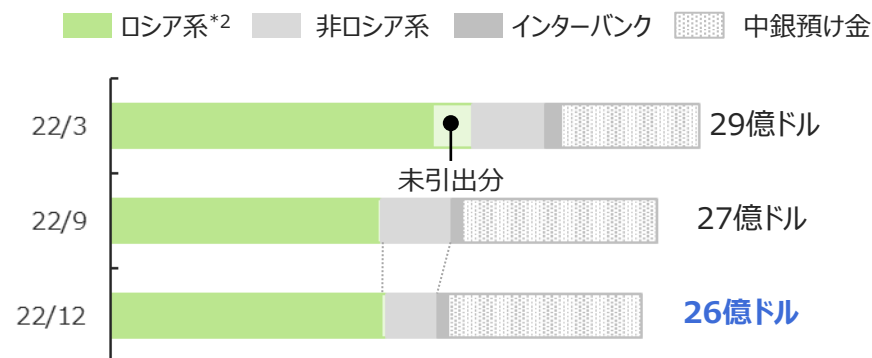
クレジットコスト

(億円、内訳は概数)



ロシア影響

ロシア向け与信*1



航空機リース

- 21年度に▲470億円の機体減損を実施 (機体簿価の52% – 保証金等)
- 今後状況の変化が生じた場合は、追加減損も検討 (最大▲460百万米ドル*3)
- 全ての機体は保険に加入、保険会社宛に申請済

*1 内部管理、最終リスク国ベース。SMBCと現地法人における貸出金、コミットメントライン、保証取引、出資金等

*2 プロジェクトファイナンス、船舶ファイナンス含む *3 持分勘案後

